# 港南小学校 学校だより

## 11月号

二十四節気・七十二候

**<11 月の二十四節気>**

・11月8日　**立冬**
冬の気始めて立つ

・11月22日　**小雪**
寒く少し雪降る

**<11 月の七十二候>**

・**楓蔦黄**
もみじつたきばむ
→楓や蔦の葉が色づく

・**山茶初開**
つばきはじめてひらく
→山茶花が咲き始める

・**地始凍**
ちはじめてこおる
→大地が凍り始める

・**金盞香**
きんせんかさく
→水仙の花が咲く

・**虹蔵不見**
にじかくれてみえず
→虹を見かけなくなる

・**朔風払葉**
きたかぜこのはをはらう
→北風が木の葉を払い除ける

# 「表現力」の育成・笑顔溢れるスポーツフェスタ

**校長　船木　亮作**

木々の葉や柿の実が色づきを増し、紅葉前線も南下してきました。

十月当初、緊急事態宣言が解除となり、ようやく通常に近い学習活動が展開できるようになってきました。例えば、音楽でのリコーダーの学習は、学級を半分の人数にし、一人一人の距離を取ったり、屋上や校庭など校舎外で学習したりするなど感染に気をつけながら実施しています。また、家庭科の調理も学級を半分に分け、自分の調理したものを自分で食べるという形で実施しました。今後も、感染症に気をつけながらできることを子供たちに経験させていきます。

今月は二回目のふれあい月間です。各学級でいじめをなくすための標語を作り、実践していきます。玄関の掲示版に貼ってありますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。学校では、毎年子供たちに3つの㋑をなくしていこうと呼びかけています。

㋑たずら・㋑じわる・㋑やがらせ

この一つ一つがいじめにつながっていきます。子供たちの心にこの言葉が留まるように繰り返し指導していきます。

先日文科省から令和2年度の不登校児童・生徒の統計が出されました。前年度より8・2%増の19万6127人で過去最高となったことが調査で分かりました。同時に自殺者も増加し、小中高生全体で415人（前年度比98人増）、小学校生7人（前年度比3人増）となり、これも過去最多を更新しました。同省の担当者によると「前年度同様家庭に起因すると考えられる自殺が多く、新型コロナ禍で大人が受けたストレスが子供に向けられた結果ではないか」と分析しています。さらに、大人による虐待件数も増加傾向にあると報じられました。逆に、個々のコミュケーションの場面が減少したことにより、「いじめ件数」は前年度より28・9%減少しました。しかし、子供たちのストレスのはけ口が「暴力」になってしまっている場合も数多く報告されています。そもそもなぜ暴力を振るうかというと自分の意見を相手に分かって欲しい、つまり一種のコミュニケーションかもしれません。しかし、暴力のように強要されたコミュニケーションでは、納得が得られず、相手に残るのは暴力を振るわれたという事実だけです。伝えたかったことが伝わらず、コミュニケーションとして欠陥がある手段と言わざるを得ません。さらに、暴力に頼ると言うことは、自分のコミュニケーションスキルが限界にきていることを証明しています。これを繰り返していくと今後も暴力に頼らざるを得なくなり「負のループ」に陥ってしまいます。ですから、学校においても家庭においても言葉や動作で自分の意見を伝えられるよう「表現力」を育成していく必要があると感じています。

さて、二十日に行ったスポーツフェスタの児童鑑賞日では、快晴の中、全校の児童が一堂に会して実施できた久しぶりの行事でした。

「輝け港南！一致団結　情熱燃やせ」

このスローガンのもと、子供たちの笑顔がはじけていた一日となりました。私は、開会式で子供たちに三つの話をしました。それは、「学年、学校全体が一致団結すること」「一人一人が一生懸命演ずること」「みんなで応援すること」。特に、子供たちは他学年の演技に手拍子を贈りながら参観したり、演技が終了すると大きな拍手が自然と起きたりするなど、改めてこの行事の意義を再確認することが出来ました。

また、二十三日には、入れ替え制となりましたが、保護者の皆様にご参観いただけたことは、子供たちのなによりの励みとなりました。今後も、感染症に配慮しながら皆様にも参観していただける行事等を行っていきたいと思います。

## ふれあい月間

ふれあい月間に向け、いじめをなくすためにどうしたらよいかを十月に話し合い、学級毎に行動目標を立てました。

家庭や地域等で学級で立てた目標を意識した言動が見られた際は、大いに褒めて価値付けていただきたいと思います。

また、毎月の生活アンケートやSOSに関する教育等を通して、いじめ防止に向けた取組を推進して参ります。

さらに、hy―perQU（学級満足度調査）を活用しています。個人の満足度の状況やソーシャルスキルを把握し、よりよい人間関係の構築のために支援策を考えています。

ソーシャルスキルの具体を例に挙げます。「先生、友達が遊びに誘ってくれない。仲間に入れてくれない」と言う児童がいます。同じ児童が「あなたは、日頃から、自分から友達を遊びに誘いますか？」という設問に「いいえ」と答えています。こうした児童には、ソーシャルスキルの獲得に向けた支援が必要となります。本校の教職員は、このような見えない地道な教育活動に取り組んでいます。

これらの学校の取組は、外部有識者も交えて組織する「いじめ・不登校対策委員会」において報告・協議しています。

**（生活指導主幹　小清水　孝）**

東京都港区港南４－３－２８
TEL 3474-1501・FAX3474-1500
港南小学校ＨＰ

## 12月の主な行事予定

1日（水）下校時刻変更・基礎無し
4日（土）Winter Festa、土曜授業・給食あり
6日（月）振替休業日
7日（火）委員会
8日（水）避難訓練（休み時間）
9日（木）【基礎無し】個人面談①
　　歯科検診(2・3年)、校外学習(5年)
　　わくわく教室個人面談始
10日（金）個人面談②
14日（火）個人面談③
　　移動教室（6年 1.2 組）
15日（水）移動教室（6年 3.4 組）
16日（木）個人面談④、歯科検診（1・2 年）
　　移動教室（6年 5.6 組）
17日（金）個人面談⑤、移動教室（わかば 4～6 年）
20日（月）個人面談⑥、振替休業日（わかば 4～6 年）
21日（火）個人面談⑦
23日（木）個人面談⑧
24日(金) 土曜時程 終業式 8:50
　　11:50 最終下校

## 11月の行事予定

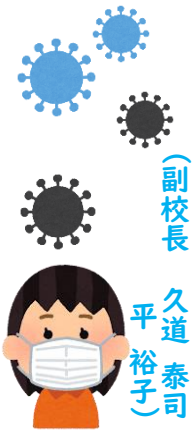
| | | |
|---|---|---|
| 1日 | 月 | 食育月間始　ふれあい月間始<br>音楽鑑賞教室(5年)3・4h［体育館］、委員会 |
| 2日 | 火 | セーフティタイム |
| 3日 | 水 | 文化の日 |
| 4日 | 木 | 【下校時刻変更】通常授業・基礎無し・4時間授業<br>歯科検診（5年・6年）、社会科見学（4年） |
| 5日 | 金 | |
| 6日 | 土 | |
| **7日** | **日** | 学校公開Ⅱ、わくわく教室公開<br>引き渡し訓練 |
| 8日 | 月 | 振替休業日 |
| 9日 | 火 | 全校放送 |
| 10日 | 水 | 【下校時刻変更・基礎なし】 |
| 11日 | 木 | 歯科検診(5・4年・わかば) |
| 12日 | 金 | |
| 13日 | 土 | 遊び場開放 |
| 14日 | 日 | |
| 15日 | 月 | クラブ活動、もぐもぐチャレンジウィーク |
| 16日 | 火 | |
| 17日 | 水 | 【下校時刻変更】12:20 完全下校<br>就学時検診 |
| 18日 | 木 | |
| 19日 | 金 | 喫煙防止教室(6年) |
| **20日** | **土** | わくわく教室保護者会 11:00～<br>クリーン作戦(5年参加)<br>陸上競技記録会（6年） |
| 21日 | 日 | |
| 22日 | 月 | 全校放送　社会科見学（6年） |
| 23日 | 火 | 勤労感謝の日 |
| 24日 | 水 | 個人面談日程配布日 |
| 25日 | 木 | |
| 26日 | 金 | 【下校時刻変更・基礎なし】4時間<br>アカデミー研究授業 |
| 27日 | 土 | |
| 28日 | 日 | |
| 29日 | 月 | |
| 30日 | 火 | |

## 副校長より

### 今だから感染対策

新型コロナウイルス三回目のワクチン接種の報道がされています。先月より新型コロナウイルスでの感染者数が減少していますが、一部の報道では、十一月から第六波が押し寄せるのではないかとの報道もあります。港南小学校では、より感染予防となる不織布のマスクを教職員は付け、用務主事は、毎日、トイレや出入口のドアノブ、手すりを消毒しています。子供たちへの日常の指導も継続して行っています。先月には、スポーツフェスタが行われ、その際もできる限りの感染症対策をしながら子供たちが達成感を味わえるよう、学年が一致団結して、指導を行いました。これからも感染対策を講じながらの学校行事が続きます。今後の備えとして、ご家庭でも感染症対策をもう一度、お子様と確認していただければ幸いです。

（副校長　久道 泰司　平 裕子）



## 表彰

| | わかば | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 児童数（人） | 25 | 216 | 217 | 224 | 223 | 235 | 220 | 1360 |

（10月30日現在）

# わかば学級より

## 合同遠足

六月二十五日に、二年ぶりの合同遠足を行いました。今年度は感染症対策のため、二つのグループに分かれての開催で、港南小は、赤羽小、高輪台小と一緒に行くことになりました。事前学習では、バスの中や公園でのマナーについて学習したり、楽しい遠足にするためのめあてを一人ひとりが考えたりしました。

みんなが待ちに待った当日は、お天気にも恵まれ、他校の友達に進んで挨拶したり、一緒に鬼ごっこをして汗を流したり、アスレチックで思い切り体を動かしたり、黙食ではありましたが、お弁当を友達と食べたりと、楽しいひと時を過ごすことができました。

これからの行事でも、めあてに向かって取り組むことで、充実感が得られるように、そして、友達と幅広く関われる支援をしていきます。

## 秋大好き

今年度、わかば学級では、季節に関する学習をしています。春、夏に続き、今は秋の食べ物、生き物、天気について、タブレットや担任手作りの秋図鑑などで調べています。

先日は校庭の桜の葉を使って染め物をしました。桜の葉を煮出して作る染色液が、無色透明から茶色に変わっていく様子、染色液に浸けた巾着が桜色に色付くことを経験を通して知ることができました。また、緑水公園での秋探しでは、春や夏とは違った植物や生き物に気付き、季節の移り変わりを感じることができました。

この季節の学習を通して、子供たちが季節にちなんだ身近な物を探すようになってきました。これからも、わかば学級全員で季節を楽しみ、豊かな日々を過ごしていきたいと思います。

（わかば学級担任　清水　文）

# 五年生より

## スポーツフェスタで演舞

五年生は、スポーツフェスタで「港南ソーラン二〇二一」を披露しました。北海道民謡をアップテンポにアレンジした「南中ソーラン」を力強く踊ることができるよう、練習を重ねてきました。低い体勢で全員が揃って踊ることができるように、互いに声を掛け合って練習に励む姿が多く見られ、高学年らしさを感じました。

また、大漁を表すための大漁旗を各学級で作成しました。それぞれの学級でスポーツフェスタに向けた気持ちを話し合い、漢字を一文字決めて大漁旗に書きました。一組「世」・二組「協」・三組「輝」・四組「波」・五組「心」・六組「絆」です。

さらに、一人ひとりの思いを法被の背中に書きました。一人ひとりの思いを込めた「港南ソーラン二〇二一」、堂々とかっこよく表現できました。

（五年三組担任　土屋　香澄）

## ごみゼロプロジェクト

「環境問題を解決したい！」

そんな思いで、五年生は総合的な学習の時間で「ごみゼロプロジェクト」に取り組んでいます。

食品ロス問題、海洋汚染問題、環境問題解決のために、地域の方に協力をいただき、友達と話し合いながら、小学生なりの解決策を考えています。これは、正解のない問題に対して、多様な視点で話し合い、自分なりの答えを探し出す「問題解決型学習」になります。また、世界的な取り組みであるＳＤＧｓにもつながる活動です。

この活動の一環として、十月三十日（土）に地域連携として、有志の児童が、「品川港南エリアピカピカプロジェクト」に参加し、海洋ごみを減らすために、地域清掃に取り組みます。

今後ともご支援、ご協力をお願いします。

（五年四組担任　小島　雄貴）

# クラブ紹介

## 室内球技

室内球技クラブでは、六年生が中心となりクラブのみんなが楽しめるように工夫しながら球技を行っています。

一学期は、バスケットボールやドッジボールなどを行いました。クラブ長を中心として、チームを編成したり、ルールを決めたりしています。クラブ活動が初めての四年生も楽しめるように工夫して取り組んでいます。チームは、四年生から六年生がそれぞれ入ることで、コミュニケーションを取りながら球技を楽しむことができています。

今後も、六年生を中心として、安全面を重視しつつ楽しく活動できるクラブを目指していきます。

（室内球技クラブ担当　盛　裕史）

## 折り紙・工作

折り紙・工作クラブでは、個人で制作したり、共通のテーマに沿って作品作りをしたりしています。

一学期は、共通でチョキチョキ飾りやプラ板、しゃぼん玉を作りをしました。チョキチョキ飾りでは、和紙を色染めし、はさみで切り込みを入れることで、鮮やかな飾りを作ることができました。また、しゃぼん玉では、割りばしや毛糸、モールなど、身の回りの物を使って道具を作りました。自分の体よりも大きなしゃぼん玉を作ろうと友達と一緒に取り組んだり、細かいしゃぼん玉をたくさん作ろうと工夫して道具を作ったりするなど、楽しんで活動できました。今後も、子供たちが創意工夫しながら楽しめるクラブ活動ができるよう指導していきます。

（折り紙・工作クラブ担当　栗田　純）

## 科学理科

科学理科クラブでは、四月にクラブで行いたい実験についてアンケートをとり、それに基づいて実験をしています。

一班に四年生から六年生までが必ず入るように班編成をし、実験で使う器具や手順をみんなで確認したり、六年生が手本を見せたりしながら楽しく活動しています。

一学期は、割れないシャボン玉作りや、微生物の観察、スライム作りをしました。九月には、思い思いの色付けた石けん作りをし、お家に持って帰れることを喜ぶ様子が見られました。普段関わらない学年同士で協力し、今後さらに主体的に活動できるクラブ活動を目指していきます。

（科学理科クラブ担当　坂口　千尋）

## 料理研究

料理研究クラブは六年生五人、五年生六人、四年生十八人で活動してます。

今年度も緊急事態宣言によりなかなか調理ができない状況でしたが、それぞれがテーマをもって給食の献立を考えたり料理に関する動画を見て勉強したりしながら活動してきました。

二学期に入り、ようやく調理ができるようになりました。一学期にみんなで何を作りたいかを話し合い、「デコレーションクッキー」を作ることになりました。それぞれが好きなトッピングを使って、テーマに合わせたデコレーションをしました。初めての調理に子供たちの楽しそうな姿が見られ嬉しく思いました。

今後も異学年同士、協力して活動できるクラブになるよう指導していきます。

（料理研究クラブ担当　中野　沙織）

## 給食室より

港南小学校の学校給食は、出来立てを食べてもらえるように学校の給食室で児童、教職員合わせて約千五百人分の給食を毎日作っています。給食に携わっているのは栄養士と調理員十四名です。献立は児童の嗜好や旬の食材等を考慮し、バラエティーに富んだものにしています。また、日本の行事食や郷土料理に限らず、世界の料理も取り入れ、児童にとって魅力のある献立を作成しています。昨年度からツイッターで給食の写真を載せているので、ご覧になっていただけると幸いです。

（栄養士　佐藤　美知）

## 国際専科より

昨年度より五・六年生の国際が教科化されたことから、専科教員とネイティブ教員で授業を行い、「聞く・話す（やりとり・発表）・読む・書く」力を育てるために、日々歌や単語練習、会話活動に加え、書く指導など幅広く充実した言語活動を行っております。

また、本校にネイティブ教員が四人いる利点を生かし、児童が本場の英語に触れる機会が増えるような授業を展開しています。小学校で英語にしっかりと慣れ親しみ、中学の英語学習に円滑に繋げられるよう指導していきます。

（国際専科　中島　京香）